

化粧品および頭髪化粧品の使用感を 数値化できる高精度計測装置の試作開発

Market ～市場環境～

～ 全国有数の教育と研究の地 奈良 ～

奈良県は国内でも有数の進学校があるなど、文教地域として知られている。また、奈良県産業振興総合センターをはじめ、技術開発や研究開発を支援する試験研究機関や産業支援機関を有しており、県北部の関西文化学術研究都市においても、活発な研究活動が行われている。私たちテクノ・ハシモトも、奈良県の研究機関とリレーションを取りながら様々な研究を日々行っている。

Products

～取扱商品～

オンリーワン技術で社会に貢献する 株式会社テクノ・ハシモト

当社は、製品の安全性、耐久性を評価する「信頼性試験装置」や「耐久性試験装置」をはじめ、「化粧品評価装置」など今までにない試験装置を製造販売している。

「ほこり環境試験装置」



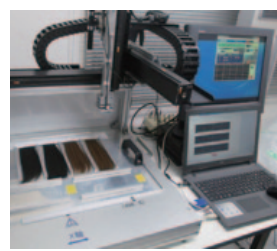
「降じん試験装置」



「クシ通り計測装置」



「フリクションテスター」

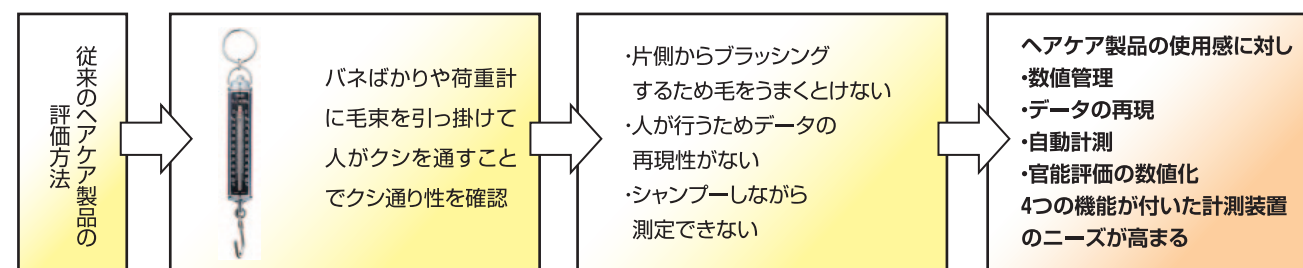


BackGround

～事業化にいたる経緯・背景～

【ヘアケア製品の評価に求められる官能評価（人による感覚的な評価）の数値化】

化粧品メーカーから、ヘアケア製品の使用感を数値管理できる計測装置のニーズがあった。



【新たな市場開拓へ】

計測機での評価は難しいとされていた官能評価の数値化は、メーカーのニーズに加え、更に他社で現在同様な装置を製造しているメーカーがない為、計測機での評価が可能となれば、新たな市場を開拓することができると考え、高精度計測装置の試作開発に取り組んだ。



株式会社 テクノ・ハシモト

■設立 平成19年2月5日

■事業内容 信頼性試験装置・化粧品向け評価装置の製造販売

■本社所在地 奈良県奈良市藤ノ木台一丁目4番地4号

■URL <http://technohashimoto.com>

■資本金 100万円

■従業員数 5名

■TEL 0742-46-1161

■E-MAIL techno-hashimoto@gamma.ocn.ne.jp



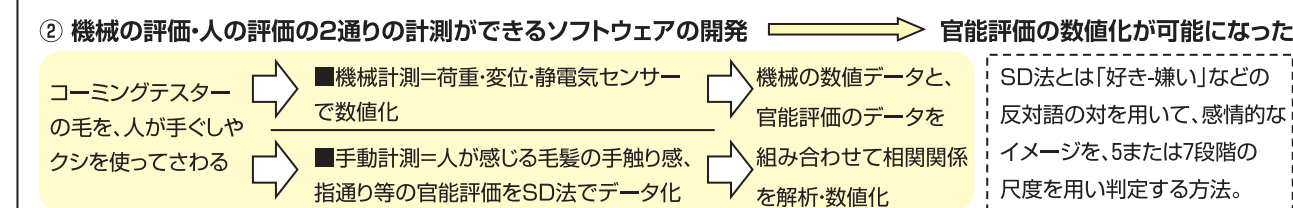
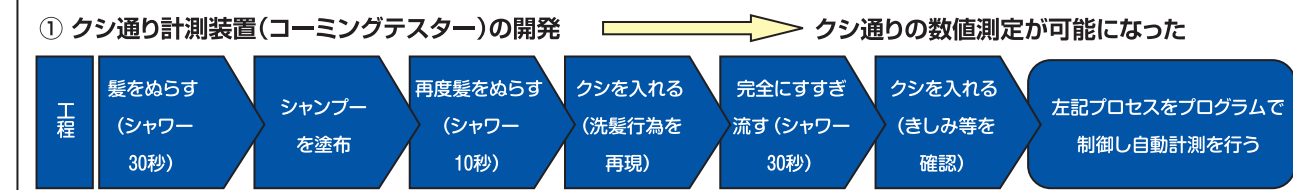
■代表者 代表取締役 橋本 真宏

わたしたちの取り巻く社会環境は日々移りかわっています。昨今、製品の安全性、評価などが重要になってきている中、一体どんなモノが必要とされているのか、といった時代の情勢を読み取る能力がますます求められています。株式会社テクノ・ハシモトは誰にも真似のできない技術、不可能と思われることに果敢にチャレンジする姿勢をモットーにしています。

Contents

～事業の概要・成果～

- 人に近い動作の再現性により化粧品および頭髪化粧品の使用感の数値化が可能になった
- 機械によるデータと人が触った時の評価を同時にすることにより官能評価も可能になった



- ③ 3次元ロボット計測装置(フリクションテスター)の開発 → 実際に人に近い動作が可能になった
- 押さえつける力を一定のまま制御できる3軸センサーにより、毛髪などの表面のなめらかさを計測することが可能になった。

クシ通りの数値化、人に近い動作の再現性、2通りの計測ができるソフトウェアの開発により、化粧品および頭髪化粧品の使用感に対して官能評価との相関、数値化が高い精度で解析できるようになった。

Task

～事業化における課題～

課題① 評価基準の明確化

頭髪化粧品等の使用感を数値化する当該製品であるが、計測結果の数値の妥当性などは、化粧品メーカーでないと分からない。
よって、当社では評価基準を把握できず、数値の妥当性等について、お客様に説明できないことが、今後販売する上での課題となっている。

課題② 海外輸出におけるコピー防止策

今後、海外向けの輸出を行うにあたり、日本での部品調達が可能になってきている現在、製品のコピー防止策が課題となっている。

Solution

～解決への道筋～

施策① 化粧品メーカーとの協力体制

化粧品メーカーの協力のもと、商品进行评估する場合の試験条件や、使用されている状況等をソフト化し開示することで、評価基準が明確になり、お客様に数値について説明することが可能となるため、更なる販売拡大につなげることができる。

施策② 貿易関連機関との連携

海外輸出に対して、様々な機関と連携を取りながら、ノウハウを築いていくとともに、コピー防止策としては、海外特許も視野にいれ、盤石な体制で臨んでいく。

Future

～今後の事業スケジュール～

- 海外輸出と更に機能性を向上したモデルの販売を行うと共に、製品の手触り感や衣類などの風合いなど、化粧品メーカーだけでなく、繊維業界などへの参入も視野に入れている。
- 売上目標 日本国内 1年目：5台、5年目：25台 海外向け輸出 1年目：5台、5年目：25台
高機能モデルの販売 2年目：4台、5年目：12台